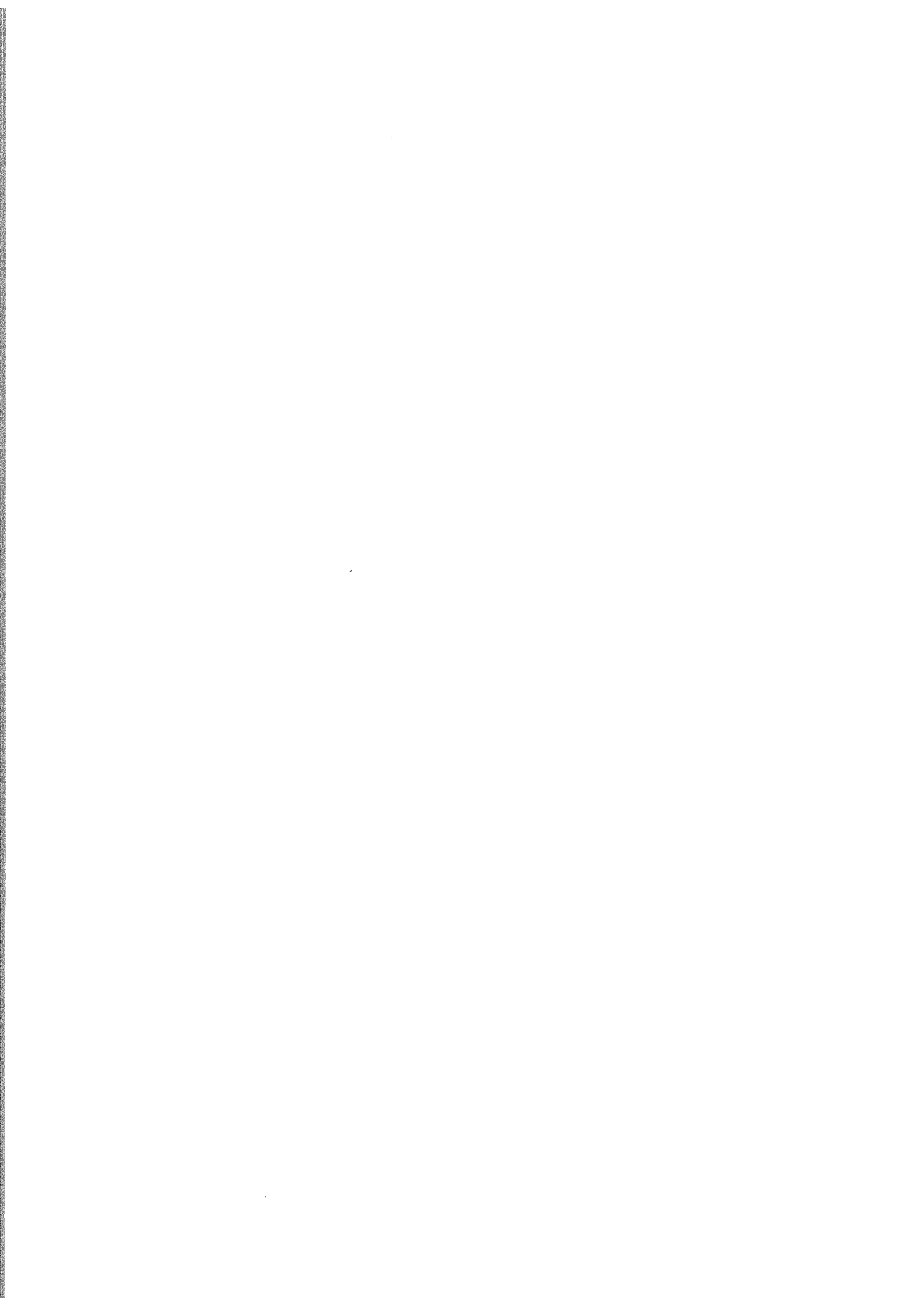


'2000／年報

平成12年度

No. 8

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



は じ め に

開館から8年を経過致しました。お陰様をもちまして特色ある考古資料館として順調な歩みを重ねて参りました。以下にくわしく述べてありますように、企画展などの展示の充実をはかるとともに、各種の体験教室、遺跡めぐりの旅、縄文まつり、考古学セミナー、講演会などに加え、冬季に県内遺跡調査報告会や古代食試食会などを実施し、一層の充実を期しました。

地域に開かれた資料館として、生涯学習の拠点として21世紀を迎えた今日その役割の重大さを自覚し、マンネリ化をたえず戒めながら、大きく飛躍していく所存であります。

とくに学校教育のなかで「総合的な学習」が新設されるにともない、それにどう対応し、機能の充実をはかっていくかこれからの大きな課題であります。それらの社会のニーズにこたえながら、東北の縄文文化や歴史を全国に発信する拠点としての役割をになっていく所存であります。今後ともよろしくご指導とあたたかいご支援をお願い申し上げます。

2001年3月

山形県うきたむ風土記の丘考古資料館

館 長 川 崎 利 夫

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	4
(1)常設展示及びテーマ展示	
(2)第9回企画展	
4. 教育普及活動	6
(1)公開講演会	
(2)体験教室	
(3)遺跡研修	
(4)うきたむ縄文まつり	
(5)第二期「考古学セミナー」	
(6)発掘調査検討会	
(7)その他の教育普及活動	
(8)「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資料の活用	11
(1)資料貸し出し	
(2)写真利用	
(3)博物館資料の特別利用	
(4)刊行物一覧	
6. 入館状況	12
(1)月別入館者一覧表	
(2)主な入館団体一覧	
(3)来観者アンケート	
7. 管理及び運営	14
(1)組織・職員	
(2)運営協議会	
8. 受贈図書・資料	15
9. 日誌抄	19
10. 利用案内	20

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

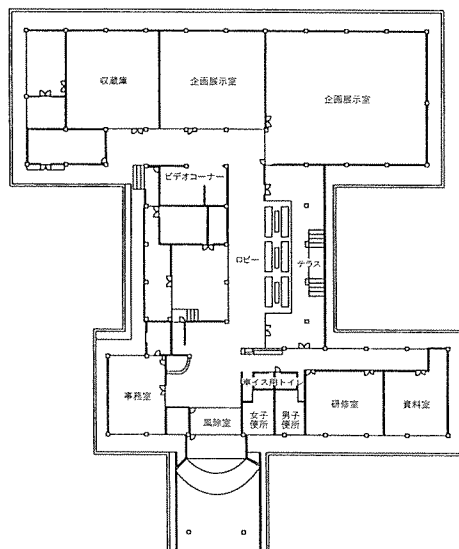
(3) 施設

① 構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000㎡ 延床面積：1,358.24㎡。

常設展示室	279.00㎡	事務室	67.50㎡
企画展示室	129.37㎡	作業室・荷解室	51.75㎡
収蔵庫(2層)	129.37㎡	ロビー・ホール	336.85㎡
研修室	125.70㎡	その他(機械室等)	238.70㎡

[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]



2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演 「考古資料館に期待すること」文化庁 田中 琢氏
第1回特別展 「縄文の四季」
シンポジウム 「祈りとたたかいの中世」
第1回収蔵品展 「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展 「古墳と人々の暮らし」
講演会 「末期古墳がつくられたころ」福島大学 工藤 雅樹氏
第2回収蔵品展 「最近発掘された置賜の遺跡から」
平成5年度入館者 15,379名
- 平成6年度 第2回企画展 「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会 「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」
秋田埋文センター 富樫 泰時氏
第3回収蔵品展 「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏他10回
第3回企画展 「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」
講演会 「中尊寺金色堂の視線」東北大学 入間田 宣夫氏
第4回収蔵品展 「古代の村と暮らし」
平成6年度入館者 7,696名
- 平成7年度 開館3周年記念特別展 「よみがえる縄文文化」
講演会 「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」
青森県教育委員会 岡田 康博氏
第5回収蔵品展 「高島古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文草創期・早期」山形埋文センター 佐々木 洋治氏他10回
うきたむ考古の会設立
第4回企画展 「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会 「古代出羽の役所」酒田市教育委員会 小野 忍氏
東北中世考古学会 設立総会
第6回収蔵品展 「置賜のやきものの移りかわり」
平成7年度入館者 7,957名
- 平成8年度 第5回企画展 「古代の窯業遺跡」
講演会 「古代の窯業遺跡」国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康鴨氏
第3期やさしい考古学入門講座 「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」山形埋文センター 佐藤 庄一氏他10回
第7回収蔵品展 「縄文の四季」
東北中世考古学会
第3回特別展 「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会 「縄文文化と現代」国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収蔵品展 「土器のうつりかわり」
平成8年度入館者 8,242名
- 平成9年度 第6回企画展 「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
テーマ展 「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）
講演会 「古代出羽の都」酒田市中央高校 佐藤 禎宏氏
講演会 「縄文文化の魅力」國學院大学 小林 達雄氏
第4期やさしい考古学入門講座 「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
「大型住居跡を掘る」米沢市教育委員会 手塚 孝氏他5回
平成9年度入館者 6,906名

平成10年度 第7回企画展 「やまがたの弥生文化ー水田稲作の始まりー」
テーマ展 「古代・中世の考古資料」 (企画展期間を除く)
考古学入門講座 「中世の考古学」
「奥羽の中世世界」山形大学 伊藤 清郎氏他5回
講演会 「東北の弥生文化ーその成立と展開ー」東北大学 須藤 隆氏
平成10年度入館者 12,499名

平成11年度 第8回企画展 「やまがたの古墳とその時代」
テーマ展 「古代・中世の考古資料」 (企画展期間を除く)
考古学セミナー 「やまがたの古墳とその時代」
「古墳時代の集落」山形県立博物館 阿部 明彦氏他5回
講演会 「日本の中の山形の古墳」 明治大学名誉教授 大塚 初重氏
置賜地区遺跡発掘調査報告会
平成11年度入館者 9,807名

これまでの教育普及活動

- 体験教室 ・土器作り ・けつ状耳飾り作り ・縄文住居作り
・土面、土笛作り ・編み物作り ・土偶作り
・釣り針づくり ・弓矢、投げ槍体験 ・石器作り
・縄文料理 ・勾玉づくり ・火起こしほか
- イベント ・縄文まつり (体験教室と縄文料理)
- 遺跡訪問 ・青森県津軽地方 ・岩手県江刺地方 ・福島会津地方
・栃木県両毛地方
・毎春秋に近隣市町の遺跡を巡検

3. 展示の概要

(1) 常設展示及びテーマ展

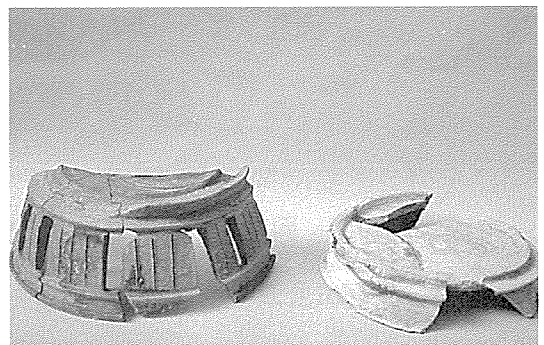
ロビーには山形の旧石器時代、常設展示室は「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人びと」の三部より構成され、代表的遺物が展示されている。押出遺跡の資料が一部保存処理が完了したので、炭化食品（縄文クッキー）や漆塗り盤などを加え、押出遺跡コーナーの充実をはかった。常設展示部門は8年を迎えるが、その間の考古学の進展やわかりやすい解説などの点から一部改善が必要である。写真やパネルについても再検討していかなければならない。たとえば、冒頭の岩石の展示はやや違和感があり、弥生時代や古墳時代の展示・パネルなども今日の状況に即応して改変して充実をはかることが望まれる。

以上のように、開館10年を期して、抜本的で大幅な見直しにより、より身近でわかりやすく、しかも最新の情報を発信するものをつくりあげていかなければならない。

秋季に開催される企画展を除く期間は、企画展示室ではテーマ展「古代・中世の考古資料」を展示している。古墳時代から中世までの土器・陶磁器などが中心であるが、ほかに板碑・瓦などもある。その中に本県最古の須恵器窯の資料などがあり注目される。今年度は高畠町教育委員会の厚意により、郡家にちかい大在家遺跡出土の木製品を展示することができた。田舟・盤・皿・呪術用具（馬型・人型・矢）などがあり、時期は7世紀後半から8世紀にかけてのものである。今後とも新たな資料の展示に心がけていきたい。なお秋・冬季に研修室前の壁面を活用しうきたむ考古の会の会員による「歴史のある風景」の写真展を催した。



テーマ展 展示
大在家の木製品（8世紀）



テーマ展 展示
大在家(左)と味噌根窯(右) 円面碗

(2) 第9回企画展

- ・テーマ 「縄文時代・最後の世界」
- ・開期 2000年10月1日より11月30日まで2か月間

1万年つづいた縄文時代の最後の時期である晩期は、まさに縄文文化の到達点を示すにふさわしく、文化も技術も獲得経済の社会のなかでは再高度に発達をとげた。しかもこの時期は、「亀ヶ岡式土器」によって知られている通り東北地方が文化の発信地でもあった。その最後の文化の全容にせまるために、村山市富並の「宮の前遺跡」の発掘調査によって出土した遺物を山形県埋蔵文化財センターより200点近い資料を借り受け展示を試みた。

展示の構成にあたって、第一部「森が生み出した精巧・華麗な土器文化」第二部「豊かさへの祈りとまつり」第三部「弥生文化への胎動」とし、三部構成によって展示をおこなった。第一部は、洗練された木型を誇り精巧で華麗な文様の展開をみせる香炉型土器や注口土器・壺などが、時期や器形ごとにならべられ、さらにもに日常使用された粗製土器の群像が展示された。第二部は、「第二の道具」といわれる石棒・石剣・石刀・石冠・独鈷石それに土偶・土版・岩版などが陳列され、当時のまつりをイメージした絵や写真が壁面を飾った。ほかに遠方との交流を示す関東地方の土器や製塩器、アスファルト入りの土器、ベンガラ入り土器などもある。第三部は次の時代への幕開けとなった最末期の土器などが展示された。

この展示の解説図録「縄文時代最後の世界」が発刊され好評を博すとともに、11月12日には、多くの研究者や考古学ファンを集めて、明治大学教授石川日出志氏講演や県内研究者5名によるシンポジウムなども開催された。(4、教育普及活動 参照)なお開期中の入館者は、約3000名であった。



企画展の展示状況



展示された宮の前遺跡の香炉形土器

4. 教育普及活動

(1) 公開講演会

11月12日(日)

受講者 110名

第9回企画展シンポジウム 「縄文時代・最後の世界」

第1部基調講演

『縄文文化の最後の世界-東北・北陸の縄文晩期の文化』

講師 明治大学教授 石川日出志氏

第2部パネルディスカッション

[パネリスト]

1. 山形県埋蔵文化財センター 山口博之氏…『宮の前遺跡の発掘調査の概要』
2. 山形県教育委員会文化財課 佐藤庄一氏…『弥生文化への移行』
3. 酒田市立中央高校教諭 佐藤禎宏氏…『庄内地方の縄文晩期の遺跡』
4. 山形県埋蔵文化財センター 小林圭一氏…『最上川流域における縄文時代晩期の遺跡分布』

[コーディネーター] 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 館長 川崎 利夫

第9回企画展 「縄文時代・最後の世界」シンポジウムとして開催した。

基調講演録を、考古の会誌 「うきたむ考古6号」に掲載予定。

(2) 体験教室

①縄文土器をつくろう

—野焼きのための焼物教室

その1 6月10・11日(土・日)

形づくり 26名参加

その2 8月19・20日(土・日)

形づくり 11名参加

共催 米沢ガイダンス教室

10月11日(水) 17名参加

野焼き 9月10日(日) 10名参加、10月29日(日) 26名

講師(野焼き) 長谷部 優



第9回企画展シンポジウム

本年度は、形づくりの日を、のべ4日間設定して開催したため、前年度より多くの参加者を受け入れることができた。野焼きは、縄文祭り時と、10月29日に行った。また、野焼きの講師としてうきたむ考古の会の長谷部氏に、協力していただき土器を完成させた。

②勾玉をつくろう—大昔のアクセサリ—

7月30日(日) 参加者 51名(墨田区小学生39名)

滑石を素材として作成。今回は墨田区の小学生が参加したため、賑やかな体験学習となった。

③編み布を編もうー縄文手芸教室

11月26日(日) 参加者 10名

押出遺跡出土の編み布片を観察後、麻紐と綿紐を素材として簡単な編み方で作成。総合学習の一環として小学生が3名参加した。

④古代食試食会

2月4日(日) 参加者37名

歴史公園内で収穫した、赤米・黒米、蕎麦、アワ、ヒエ、モロコシ、キビを利用する機会として開催した。今回は、はじめての試みだったため、公園管理組合の方々を主として行った。

赤米は、玄米ご飯として炊いたほか粉に挽いてだんごに、黒米・モロコシも粉にしてだんごに、キビ・ヒエはモチ米と混ぜて、モチ及び白米に加えて雑穀米として試食した。



縄文土器をつくろう



古代食試食会

(3) 遺跡研修

①春の遺跡めぐり

6月3日(土) 参加者 23名

山形市、山辺町、中山町内の遺跡史跡及び資料館を訪ねた。石田B遺跡発掘調査現場、谷柏古墳群、明円寺尚古館、菅沢古墳群、山形市大之越古墳、大塚天神古墳、山辺町ふるさと資料館、安国寺、中山町歴史民俗資料館を、見学学習した。

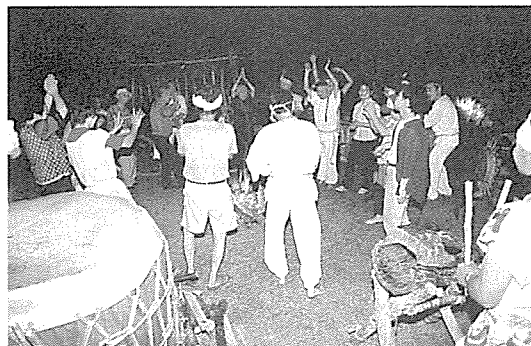


春の遺跡めぐり

②秋の遺跡めぐり

10月15日(日) 参加者 22名

米沢市内、成島古墳群発掘現場、林泉寺、古志田東遺跡、笹野観音堂、直江石堤、普門院をおとずれ、見学学習した。



うきたむ縄文まつり

(4) うきたむ縄文まつり

9月10日に開催 参加者150名

縄文時代のくらし・遊び・祭りを体験しながら、縄文人のおおらかな生き方を感じることをテーマに「まほろば古の里歴史公園」を会場に開催された。昨年に引き続き、歴史公園管理組合・うきたむ考古の会・八幡神社文化財保存会・高畠町観光協会、うきたむ風土記の丘考古資料館等を中心に実行委員会を組織し、事業の計画・準備・運営・後かたづけを行った。事前に多くの方に申し込みしていただいた。

○ 縄文体験 14:00～16:00

勾玉作り・編み布・弓矢作りを歴史公園東屋にて行った。

○ 縄文のまつり 17:30～18:30

東北芸術工科大学森繁哉助教授の舞踏、縄文祭壇の点火式を行った。

○ 縄文の料理試食 17:30～19:00

縄文クッキー・黒米おこわ・蒸し魚・芋煮・縄文ドリンク・にごり酒を試食した。

○ 月見の宴 19:30～20:30

縄文太鼓（代表 金子俊郎氏）の演奏・歌・踊り

参加者には土器焼き時にいっしょに焼いた粘土作りの勾玉をプレゼントした。

(5) 第二期「考古学セミナー」

5回にわたる「やさしい考古学入門講座」を終了し、平成11年度より「考古学セミナー」として実施することにした。考古学を楽しく学び歴史を正しく認識することを目的に、どなたにも開かれた学習の場として生涯学習に寄与することをねらいとし、5回にわたり実施した。

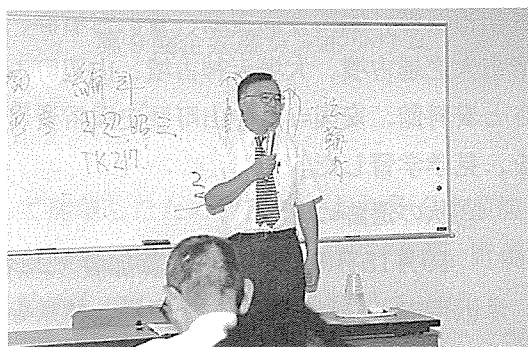
今回は、仏教が伝来するなど、日本列島の政治や社会、文化の大きな転換点となった「奈良・平安の考古学」をメインテーマにして学習をした。受講者は67名、延べ219人であった。

●第一回 8月20日 42名 『飛鳥時代の東北』

講師：福島県教育委員会 木本 元治氏

東北の飛鳥時代は、なかなか年代を特定しにくい状況にある。そのため、それ以前の古墳時代との関係から飛鳥時代の東北を考えることになる。

7世紀第二四半期には、南東北に寺院が建立されていたことが、最近発掘された官衙付属寺院の発掘、福島県相馬地方にある7世紀代の窯跡において瓦が焼かれていたことから知る事ができる。



考古学セミナー

●第二回 8月27日 47名 『出羽の国府と郡家』

講師：山形県教育委員会 佐藤 庄一氏

律令国家の地方行政は、「国」「郡」「里・郷」を単位に行われ、律令国家内を60に

分割した「国」にはそれぞれ「国府」が置かれ、中央から派遣された「国司」が地方統治の任に当たっていた。その下部に「郡衙」があり、地方の豪族が郡司となった。

出羽国が行政組織として形を整えるのは8世紀以降であった。現在の山形県域のうち内陸盆地の最上（現在の山形市付近）と置賜は7世紀後半頃から陸奥国に属し、後に出羽国に編入された。

●第三回 9月3日 47名 『奈良・平安時代の建物跡から考える』

講師：東北芸術工科大学教授 宮本 長二郎氏

仏教は6世紀頃から日本列島に移入され、飛鳥時代の仏教建築が始まる。その技術は渡来人や遣唐使により大陸から伝えられるが、その後、日本列島の気候風土に合うように作り変えられていった。現存する8世紀までに作られた木造建築は法隆寺・薬師寺等、全国で30棟ほどあり、そのいずれもが大陸から建築様式が移入されたものである。

●第四回 9月17日 39名 『仏教の考古学』

講師：県立考古資料館 館長 川崎 利夫

公的な日本列島への仏教伝来は538年百濟聖明王により仏像や経巻などが贈られたことに始まる。寺院の創建は、588年の飛鳥寺造営を端緒とする。

山形県域には大化改新後まもなく現在の「うきたむ郡」（現在の置賜地方域）が設けられ、同時期に公的に仏教が移入されたと考えられる。こうした都から離れた土地からも僧侶になる者（日本書紀持統天皇3年 689年条）が見られた。

また、奈良・平安期には、村落に仏堂が現れはじめ、発掘された墨書土器等の中に、仏教に関するものが見られるようになる。

●第五回 9月24日 44名 『奈良・平安時代の集落跡』

講師：山形県教育委員会 阿部 明彦氏（閉講式・修了証交付）

縄文時代からの住居様式は北方的な要素を持つ竪穴住居が中心であったが、9世紀から10世紀になると南方的な住居様式の掘立柱住居が多く建てられるようになる。

庄内地方は特に掘立柱住居が多く、これは官衙やそれらに伴う北陸方面からの移住に伴うものである。一方、同時期の置賜・最上地方（現在の山形市付近）は陸奥国に属し、住居の形態としては、竪穴住居と掘立柱住居の混交が見られる。

(6) 発掘調査報告会

①2000年山形の発掘〈調査報告会〉

2001年2月12日(祝) 46名参加

- ・基調報告「2000年度の発掘調査の成果と課題」県教育委員会佐藤庄一氏ほか、昨年発掘調査された県内9遺跡について、報告、検討を行った。

(7) その他の教育普及活動・共催事業

①学校教育機関共催事業

- ・高島町立第一中学校、選択社会科体験学習

5回に分けて、近隣遺跡の現地学習及び、火起こし体験など。

・米沢市ガイダンス教室

夏休み期間中に、土器作りと土器の野焼きの体験を行った。

従来の社会科学習、地域の学習、クラブ活動のみならず、平成14年度から本格的に取り組まれる「総合的な学習」をめぐって学校・教員、生徒・児童等様々な立場から資料館が盛んに利用されるようになった。

資料館周辺の古墳等の現場で行う出前授業（社会科）や地域発見のクラブ活動へのガイドを行った。また、「総合的な学習」の取り組みに対して、原始時代の生活体験や古代米づくり等に関する情報を提供、体験学習用具や資料の貸出し、相談事業等を行った。相談件数は延べ30件以上に及び、電話での相談も受け付けた。また、公民館活動における体験教室等への協力を行った。こうした学校等の資料館利用の増加を受け、生徒・児童の自習のための利用等が増加した。

今後は、こうした「総合的な学習」への相談事業を更に充実させるため、研究、職員の研修、資料の充実をはかっていくと共に、関係機関との定期的な連絡調整の場の設置を試みたい。

(8) 「うきたむ考古の会」の事業

◎考古の会総会及び講習 6月11日

縄文土器づくりまたは、資料館周辺遺跡散策のあと、総会を行った。

◎会誌「うきたむ考古」5号の発行

総44頁、昨年度特別講演会

『日本の中の山形の古墳』講師 明治大学名誉教授 大塚初重氏の講演抄他、会員による論文などを、掲載。

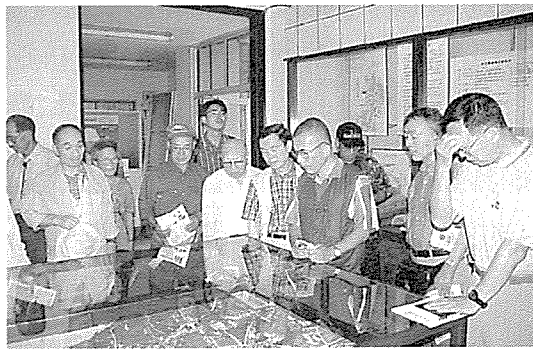
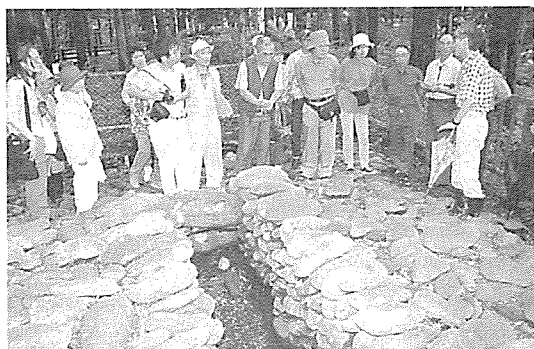
◎会員研修～みる・きく・ふれる遺跡の旅5～古代の北方世界を訪ねるの開催

7月8日～9日 24名参加

◎うきたむ縄文まつりの協力

役員をはじめとした数名の会員によって、縄文まつりの縄文体験コーナーの講師として協力。

◎自主事業「北村山の遺跡史跡めぐり」12月9日～10日 9名参加



みる・きく・ふれる 遺跡の旅

5. 資料の活用

(1)資料貸出

遺跡名	資料名	利用の理由	申請者	資料活用期間	備考
押出遺跡	彩漆土器・植物資料他 計29点	特別展「縄文時代の日本列島」に出品	東北歴史博物館	12年4月29日～6月4日	
押出遺跡	彩漆土器1点	第5回アジア友好日本古美術展「日本文物精華展」出品 上海博物館	—	13年1月20日～3月20日	文化庁主催
押出遺跡	彩漆土器2点	特別展「土器の造形」出品	東京都国立博物館	13年1月30日～3月11日	

(2)写真利用

利用資料	利用目的(印刷物等の名称)	利用者(発行者)	発行期間	部数
押出遺跡炭化食物	「総合学習のヒント・クイズなぜなに日本史」	(株)学習研究社	13年2月20日	5,000
日向洞窟他	「文化財探訪クラブ 重要史跡を歩く」	(株)山川出版社	13年8月	5,000
押出遺跡編布残欠	日本の歴史01巻「縄文の生活史」	(株)講談社	13年10月	30,000
押出遺跡炭化食物	「図説 和菓子の今昔」	(株)淡交社	12年9月	4,000
押出遺跡彩漆土器	雑誌「目の眼」2月号	(株)里文出版	12年12月30日	30,000
押出遺跡炭化食物	「古代体験マニュアル」	島根県埋蔵文化財センター	13年3月31日	5,000
押出遺跡彩漆土器	「高島町の文化財」	高島町文化財保護会	13年3月31日	

(3)資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
12年6月15日	町下遺跡石器	研究のため	明治大学大学院生 馬場伸一郎
12年11月29日	日向洞窟土器・石器	縄文時代草創期研究のため	東北学院大学助教授 佐川正敏他3名
13年2月10日	町下遺跡他土器等	縄文時代後期晩期研究のため	新潟県朝日村教育委員会6名

(4)発行物一覧

書名	発行日
館報うきたむ15号	12年5月20日
第9回企画展図録「縄文時代・最後の世界」	12年10月1日
館報うきたむ16号	13年11月3日

6. 入館状況

(1)平成12年度 月別入館者一覧表

月分	有料入館者数(人)					無料入館者数(人)					計
	個人		団体		計	減免者数		視察その他		計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等		
4月	228	2	20	0	250	23	136	2	46	207	457
5月	439	9	119	0	567	346	711	0	0	1,057	1,624
6月	274	4	0	0	278	152	190	0	0	342	620
7月	181	6	236	0	423	117	512	39	0	668	1,091
8月	487	18	22	0	527	187	452	1	0	640	1,167
9月	358	11	148	0	517	264	796	154	0	1,214	1,731
10月	396	14	309	0	719	312	981	16	0	1,309	2,028
11月	238	7	178	0	423	241	216	19	0	476	899
12月	37	0	98	0	135	20	6	1	0	27	162
1月	6	0	0	0	6	2	0	0	0	2	8
2月	34	8	21	0	63	86	1	7	0	94	157
3月	73	24	51	0	148	41	15	12	0	68	216
計	2,751	103	1,202	0	4,056	1,791	4,016	251	46	6,104	10,160

550,200¹⁰³⁰⁰
 740,800¹⁸⁰³⁰⁰

(2)主な入館者団体一覧

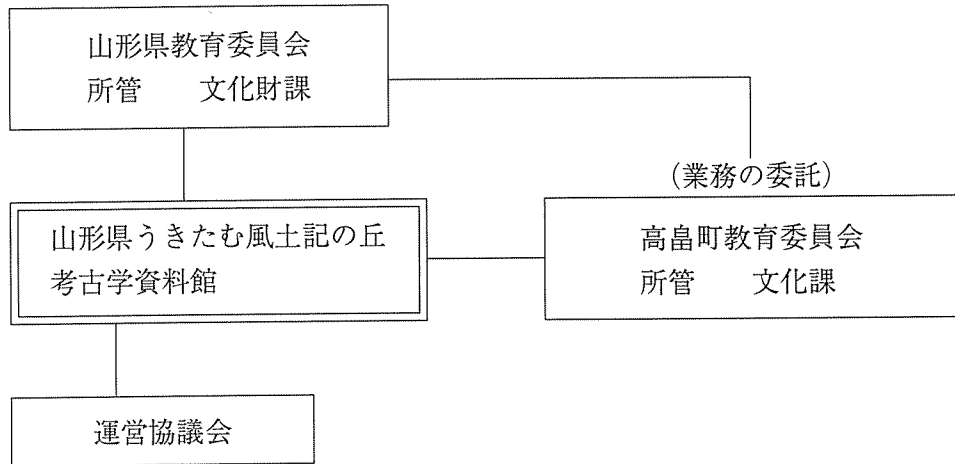
高島町立和田小学校、宮内参余会、たかはた春まつり、米沢市立南原小学校、南陽市小学校教育研究会、高島町立第四中学校、中山町立豊田小学校、置賜管区教育委員会指導主事研修、宮城県立第1女子高等学校PTA、高島町商工会中国研修生、山形市立滝山小学校、明治大学教育振興部研修、高島町立第1中学校、高島町健康福祉課福祉教室、飯豊町立添川小学校、南陽市立中川小学校、天童市立成生小学校、高島町企画課、高島町立屋代小学校、福島県天栄村文化財保護会、只見町農業委員会、高島町立高島小学校、中山町移動研修、新潟県山北町立八幡小学校PTA、高島町教育委員会校長会研修、宮城県立第1女子高等学校、天童市野草に親しむ会、寒河江市日の出町子供会、高島町立屋代小学校、米沢市民協更生保健部会、寒河江市郷土史講座、高島町立亀岡小学校、仙台市地底の森ミュージアム友の会、弘前市商店街、白鷹町鮎貝地区公民館、河北町北谷地地区公館、山形市本沢郷土研究会、JA会津年金友の会、山形県立米沢養護学校、山形県立長井高等学校、高島町立高島小学校地域クラブ、鶴見大学、高島町教育委員会職員研修、山形県立寒河江高等学校、茨城県友部町たばこ組合、山形市立第7小学校、新潟県安塚町職員研修、郡山福祉専門学校、高島町民生児童委員研修会、山形県立米沢工業高校、中山町上町地区移動研修、山形県立米沢工業高校、鶴岡市大山文化財保護会、鶴岡俳句会。米沢市教育研究所ガイドダンス、高島町立糠野目小学校、長井市中央児童センター、山形県文化財保護協会、高島町高島地区公民館、山形県立山形中央高等学校、長井市中道公民館、高島町消費生活研究会、仙台市立荒町小学校、川西町吉島公民館、上山市立東小学校、蔵王みゆき病院、山形県民医連、村山市教育委員会、山形県立高島高等学校、寒河江市南部地区公民館、高島町和田地区公民館、山形市西町寿会、米沢市かもしかクラブ、宮城県旅館業組合、梁川文化財保存会、山形市果樹組合、NHK文化センター、東北学院大学文学部、山形福祉文化センター、山形市郷土文化研究会、山形県文化財保護協会、NHK文化センター泉、JR上山温泉駅、高島町観光協会観光施設研修、NHK文化センター山形
 20名以上の団体(来館順)

(3)入館者アンケート

- ・石器にもう少し詳しい見出しをつけて下さい。(宮城県・60歳代男性)
- ・クイズ形式で楽しめるものがあると良いと思う。(京都府・40歳代女性)
- ・トイレに乳児用ベッドがあると助かります。(福島県・30歳代女性)
- ・墨書土器に釈文がついていると良いと思いました。(米沢市・20歳代女性)
- ・展示で説明されている史跡の現在の場所を示す地図が欲しい。(米沢市・30歳代女性)
- ・レプリカで良いので、手に持てる土器や石器があると良いと思います。
(米沢市・30歳代女性)
- ・文献資料の内容と結びつけて、考古資料を紹介すると、もっと面白いのではないか。
(埼玉県・40歳代男性)
- ・冬場の交通の便が悪いので、何か工夫してくださると助かります。
(千葉県・60歳代男性)
- ・山形にこのような文化の歴史があることを始めて知りました。土器や石器にたくさんの工夫がしてあり、古代人の知恵の豊かさを学ぶことができました。
(山形市・30歳代女性)
- ・館内にこんなにも色々なものがあることを知りませんでした。孫と一緒にドライブしながら見学に来てとても良い勉強になりました。(高島町・60歳代女性)
- ・秋田と山形では。昔の人の暮らし振りが少し違うように感じました。
(秋田県・60歳代男性)
- ・資料館を含めた公園の景色が良いですね。外がきちんと整備されていて気持ちが良いです。展示物もわかりやすく子供でも十分学習できると思いました。
(山形市・40歳代男性)
- ・火おこし、体験コーナーが良かったです。(大江町・小学生男性)
- ・学芸員の方の説明が大変良かったです。わかりやすかったです。(千葉県・60歳代男性)
- ・初めて来館しましたが、立派な土器等が多いのでびっくりしました。高島町のこの資料館を是非、他県にもPRして欲しいと思います。(福島県・40歳代男性)
- ・黒米がもらえて、うれしかった。(福島県・20歳代女性)
- ・地方の一つの町に、こんなスケールの大きい資料館があることに感動しました。
(千葉県・70歳代女性)
- ・体験学習が面白そう。(島根県・40歳代男性)

7. 管理及び運営

(1) 組織・職員



(2) 運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏名	備考
安彦 好重	山形県文化財保護協会会長
鈴木たみ子	米沢市教育委員会文化課長
木場 清耕	財団法人山形県埋蔵文化財センター理事長
佐藤 鎮雄	高島町立高島小学校長 県文化財保護指導員
浜田 清明	山形県文化財保護協会会員
山崎 正	高島町郷土資料館長
吉野 智雄	上山市立図書館長 県文化財保護指導員

委員長 浜田 清明
副委員長 吉野 智雄

第1回

開催期日 10月10日 本館研修室
会議内容 (1)平成11年度考古資料館事業報告
(2)平成12年度考古資料館事業状況報告
(3)その他

第2回

開催期日 2月28日 本館研修室
会議内容 (1)平成12年度考古資料館事業報告
(2)平成13年度考古資料館事業計画
(3)その他

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

職員名簿

職名	氏名	備考
館長	川崎 利夫	非常勤
館長代理	今井四郎右衛門	
主事	大河原 恵美子	
主事	小林 貴宏	
嘱託	宇佐美 みふゆ	学芸員
臨時職員	木村 博子	4月～1月

8. 受贈図書類 (平成12年4月～平成13年2月)

年報類

	名称	発行所・編著者
1	齊藤茂吉記念館年報 平成11年度第15号	(財)齊藤茂吉記念館
2	山形県立博物館報 平成11年度実績	山形県立博物館
3	浜田広介記念館 館報第4号 平成11年度	浜田広介記念館
4	米沢市立上杉博物館年報 平成10年度	米沢市教育委員会
5	岩手県立博物館年報 平成11年度	(財)岩手県文化振興事業団
6	地底の森ミュージアム年報第4号 平成11年度	(財)仙台市歴史文化事業段
7	浦幌町立博物館年報 創刊号	浦幌町立博物館
8	秋田県埋蔵文化センター年報18 平成11年度	秋田県埋蔵文化センター
9	秋田県立博物館年報	秋田県立博物館
10	史跡三内丸山遺跡 年報3	青森教育委員会
11	青森県立郷土館報 第27号 2000	青森県立郷土館
12	調査研究年報 第24号	青森県立郷土館
13	多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 平成10・11年度	多賀城市埋蔵文化財調査センター
14	東北歴史博物館 年報 平成11年度年報	東北歴史博物館
15	年報 平成11年度版	苫小牧博物館
16	埋蔵文化財センター年報 第10号(平成12年度版)	(財)とちぎ生涯学習文化財団
17	東京都埋蔵文化財センター年報20 1999(平成11)年度	(財)東京都生涯学習文化財団
18	江戸東京博物館要覧2000	(財)東京都歴史文化財団
19	年報 平成10年度	横浜市歴史博物館
20	玉里村立史料館 館報 vol.5 開館5周年記念号	玉里村立史料館
21	資料館報 No.31 ISSN 0914-2126	埼玉県さきたま資料館
22	山武考古学研究所年報 No.18	山武考古学研究所
23	栃木県埋蔵文化財保護行政年報22 平成10年度	栃木県教育委員会
24	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第14号	栃木県教育委員会
25	明治大学博物館年報 1999年度	明治大学博物館事務室
26	岐阜県博物館報 第23号	岐阜県博物館
27	名古屋市見晴台考古資料館年報17	名古屋市見晴台考古資料館
28	リトルワールド年報 第22号 1999年度	野外民俗博物館リトルワールド
29	ふたかみ9 香芝市二上山博物館年報・紀要 2000年度	香芝市二上山博物館
30	年報 平成11年度	滋賀県立安土城考古博物館
31	草津市文化財年報 平成10年度	草津市教育委員会
32	大阪府立近つ飛鳥博物館館報5	大阪府立近つ飛鳥博物館
33	同志社大学歴史資料館 館報 第3号(1999年度)	同志社大学歴史資料館
34	年報16 平成11年度	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
35	下関市立考古博物館年報5 平成11年度	下関市立考古博物館
36	年報 平成11年度	愛媛県歴史文化博物館
37	高知県立歴史民俗資料館 平成11年度 No.9	高知県立歴史民俗資料館
38	宮崎県総合博物館 年報 第29号 平成11年度	宮崎県総合博物館
39	九州歴史資料館年報 平成11年度	九州歴史資料館
40	みやざき歴史文化館年報 平成10・11年度	財団法人宮崎文化振興協会
41	大分県立歴史博物館年報 平成11年度	大分県立歴史博物館

目録・ガイド類

1	山形県立博物館収蔵資料目録 植物文献資料目録4	山形県立博物館
2	山形県立博物館収蔵資料目録 植物資料目録1	山形県立博物館
3	岩手県立博物館収蔵史料目録第16集 考古V	(財)岩手県文化振興事業団
4	北海道開拓の村要覧 平成12年度	(財)北海道開拓の村
5	仙台市博物館収蔵資料目録 伊達家寄贈文化財(古文書1)	仙台市博物館
6	仙台市博物館収蔵資料目録10 伊達家寄贈文化財(古文書1)	仙台市博物館
7	歴史資料目録(衣生活資料編) 苫小牧博物館収蔵資料目録14	苫小牧市博物館
8	江戸東京博物館要覧 2000	(財)東京都歴史文化財団
9	横浜市歴史博物館資料目録 第7集	横浜市歴史博物館
10	群馬県立歴史博物館所蔵資料目録 民俗Ⅱ	群馬県立歴史博物館
11	中世の城館跡 資料館がトブック No.7	埼玉県立歴史資料館
12	山武考古学研究所出版物目録	山武考古学研究所
13	山武考古学研究所出版目録	山武考古学研究所
14	江戸東京たてもの園考古資料一覧 資料目録1	東京都江戸東京たてもの園
15	明治大学博物館図書目録 第3号 1999年度版	明治大学博物館事務室
16	長野県立歴史館常設展示図録	長野県立歴史館
17	武家文書目録 愛媛県歴史文化博物館資料目録第7集	愛媛県歴史文化博物館
18	宮崎県総合博物館 総合案内	宮崎県総合博物館
19	宮崎県総合博物館 総合案内	宮崎県総合博物館
20	熊本県立装飾古墳館要覧 平成12年度(第9号)	熊本県立装飾古墳館
21	明治大学博物館図書目録 1998年度版 第2号	明治大学博物館事務室

図録類

1	絵図古文書に見る それぞれの昔 平成12年度 企画展	高島町郷土資料館
2	大海牛・大鯨展 海で進化する哺乳類	山形県立博物館
3	山人 その生業と伝承 第31回企画展	岩手県立博物館
4	温故知新 第5回市内遺跡発掘調査成果展	郡山市教育委員会
5	語りはじめた大安場古墳 第6回市内遺跡発掘調査成果展	郡山市教育委員会
6	青森県立郷土館収蔵資料図録 第2集 考古編(1)	青森県立郷土館
7	プレイミュージアム図録 遊びの素	仙台市博物館
8	赤彩の考古学 平成12年度特別企画展	仙台市富沢遺跡保存館
9	東北地方の仮面 芸能と祈りのこころ	東北歴史博物館
10	文字世界への招待	東北歴史博物館
11	移りゆく横浜の海辺 海とともに暮らしていた頃	横浜市歴史博物館
12	秀吉襲来 近世関東の幕開け	横浜市歴史博物館
13	中世の梵鐘 物部姓鋳物師の系譜と鑄造	横浜市歴史博物館
14	都筑の村々 企画展江戸時代の横浜	横浜市歴史博物館
15	祈りの造形 中世霞ヶ浦の金工品 第23回企画展	霞ヶ浦町郷土資料館
16	縄文から弥生へ 平成12年度 特別展	玉里村立史料館
17	オランダへわたった大工道具	国立歴史民俗博物館
18	地鳴り 山鳴り 民衆のたたかい300年	国立歴史民俗博物館
19	伝統の朝顔Ⅱ 芽生えから開花まで	国立歴史民俗博物館
20	伝統の朝顔Ⅲ 作り手の世界	国立歴史民俗博物館
21	北の島の縄文人 海を越えた文化交流	国立歴史民俗博物館
22	戦後松戸の生活革新 新しい暮らし方のあこがれ	松戸市立博物館
23	古代霞ヶ浦事情 常陸国府とその周辺 第6回企画展	上高津貝塚ふるさと歴史の広場ほか
24	弥生時代の早稲田ムラ 第6回企画展	早稲田大学会津八一記念博物館
25	群集墳の時代 しもつけにおける成立と展開 第14回企画展	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
26	関東以北の前方後方墳・方墳の鏡 第8回企画展	栃木県立なす風土記の丘資料館
27	新潟県立歴史博物館 常設展示図録	新潟県立歴史博物館
28	古代シナの武器と馬具	長野県立歴史館
29	千曲川歴史紀行 とともに生きた人々の記録 平成12年度夏季企画展	長野県立歴史館
30	歴史の宝庫 秋葉みち 文化財保護法50年秋季企画展	長野県立歴史館
31	開館20周年記念特別展なごや考古年表Ⅱ	名古屋市見晴台考古資料館
32	Replica 平成12年度春季企画展	香芝市教育委員会
33	三輪山周辺の考古学 桜井市立埋蔵文化財センター図録第20冊	桜井市文化財協会
34	大和の縄文時代 平成12年度春季特別展	桜井市文化財協会
35	信長文書の世界 平成12年度 秋季特別展	滋賀県立安土城考古資料館
36	学校の宝物 親子で楽しむ考古学 2 第21回企画展	滋賀県立安土城考古博物館
37	平成12年度春季特別展楽浪海中に倭人有 二千年前の日本列島	滋賀県立安土城考古博物館
38	近江発掘創世記 第22回企画展	滋賀県立安土城考古博物館
39	残されたキャンパス	大阪府立近つ飛鳥博物館
40	大阪2001 難波の宮と大坂城 発掘速報展	大阪府立近つ飛鳥博物館
41	古鏡の世界 平成10年度 秋季展	辰馬考古資料館
42	銅鐸・銅剣・銅矛 平成11年度 秋季展	辰馬考古資料館
43	くらしと道の歴史(中国山地の鉄塩銀の道) 平成11年度特別企画展	広島県立歴史民俗資料館
44	愛媛まつり紀行 21世紀に伝えたい郷土の祭礼 平成12年度企画展	愛媛県立歴史文化博物館
45	記された歴史のメッセージ 収蔵品を中心として	高知県立歴史民俗資料館
46	近世土佐の砲術史 徳弘孝蔵とその時代	高知県立歴史民俗資料館
47	近畿地方の装飾古墳 平成12年度後期企画展	熊本県立装飾古墳館

紀要等

1	自己点検・評価報告書	国立歴史民俗博物館
2	中国の旧石器 考古学資料集5	国立歴史民俗博物館内春成研究室
3	日本旧石器早中期文化研究新進展、近年の中国における(抜刷)	佐川正敏ジャパン通信情報センター
4	山形県立博物館研究報告 第21号	山形県立博物館
5	山寺芭蕉記念館紀要 第5号	山形市文化振興事業団
6	田制館跡発掘調査報告書 川西町埋蔵文化財調査報告書第16集	川西町教育委員会社会教育課
7	大石田町立歴史民俗資料館史料集 第六集	大石田町教育委員会
8	MUSEUM東京国立博物館研究誌 No. 563~570	東京国立博物館
9	一関市博物館研究報告 第3号	一関市博物館
10	市民文化財研究員活動報告書	財団法人仙台市歴史文化事業団
11	研究紀要 第15号 2000年	秋田県埋蔵文化センター
12	秋田県立博物館研究報告 第25号	秋田県立博物館
13	仙台市博物館調査研究報告 第20号 平成11年度	仙台市博物館
14	仙台市富沢遺跡保存館研究報告3	仙台市富沢遺跡保存館地底の森ミュージアム
15	東北歴史博物館研究紀要 1	東北歴史博物館
16	研究報告 第10号	苫小牧市博物館
17	研究紀要 第8号	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化センター
18	紀要 第3号	横浜市歴史博物館
19	群馬県立歴史博物館紀要 第21号	群馬県立歴史博物館
20	祭祀考古学 第2号 ISSN 1343-3296	祭祀考古学会
21	調査研究報告 第13号	埼玉県立さきたま資料館
22	松戸市立博物館紀要 第7号	松戸市立博物館
23	早稲田大学会津八一記念博物館研究紀要 第1号 1999年度	早稲田大学会津八一記念博物館
24	東京国立博物館紀要 第34号	東京国立博物館
25	研究論集XVⅢ	東京都埋蔵文化財センター
26	書陵部紀要第49号抜刷 陵墓関係調査概要	書陵部
27	博物館學紀要 第24輯 1999年度	國學院大學博物館学研究室

28	岐阜県博物館調査研究報告 第21号	岐阜県博物館
29	研究紀要	光記念館
30	新潟県立歴史博物館研究紀要 創刊号 vol.1	新潟県立歴史博物館
31	研究紀要 第6号	長野県立歴史館
32	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第2号/2000	名古屋市見晴台考古資料館
33	リトルワールド研究報告	野外民族博物館リトルワールド
34	研究紀要 第6号	(財)京都市埋蔵文化財研究所
35	研究紀要 第4号	下関市立考古博物館
36	ふたかみ6・7 香芝市二上博物館年報紀要	香芝市二上博物館
37	紀要 第8号	滋賀県立安土城考古博物館
38	「古墳・飛鳥人になりきってみよう」実施報告書	大阪府近つ飛鳥博物館
39	辰馬考古資料館考古学研究紀要 3	辰馬考古資料館
40	研究輯録X 2000(平成12)年	(財)広島県埋蔵文化財調査センター
41	研究紀要 第5号	愛媛県歴史文化博物館
42	研究紀要 第9号	高知県立歴史民俗資料館
43	研究紀要 1998.3vol. 11	大分県宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
44	大分県立歴史博物館 研究紀要1	大分県立歴史博物館
45	明治大学博物館研究報告 第5号	明治大学博物館事務局

報告書類

1	寒河江市内遺跡(7) 寒河江市埋蔵文化財調査報告書20	寒河江市教育委員会
2	高島町埋蔵文化財調査報告書8,9	高島町教育委員会
3	川口遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書151	山形県教育委員会
4	柳沢条里遺跡 2次 山形県埋蔵文化財調査報告書152	山形県教育委員会
5	早坂山b遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書154	山形県教育委員会
6	赤岩遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書155	山形県教育委員会
7	高瀬山K遺跡 1・2次 山形県埋蔵文化財調査報告書158	山形県教育委員会
8	東田遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書165	山形県教育委員会
9	圃地田遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書167	山形県教育委員会
10	山形西高敷地内遺跡 4 山形県埋蔵文化財調査報告書173	山形県教育委員会
11	金保I・K遺跡・山海窯跡群3次 山形県埋蔵文化財調査報告書183	山形県教育委員会
12	中田浦遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書185	山形県教育委員会
13	木原遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書186	山形県教育委員会
14	筋田遺跡 山形県埋蔵文化財調査報告書187	山形県教育委員会
15	烏川遺跡群 山形県埋蔵文化財調査報告書190	山形県教育委員会
16	郡之神遺跡 2次 山形県埋蔵文化財調査報告書191	山形県教育委員会
17	山形西高敷地内遺跡 5 山形県埋蔵文化財調査報告書192	山形県教育委員会
18	藤島城跡 5次 山形県埋蔵文化財調査報告書193	山形県教育委員会
19	山辺町遺跡地図 山辺町埋蔵文化財調査報告書8	山辺町教育委員会
20	大塚天神古墳 2次 山辺町埋蔵文化財調査報告書7	山辺町教育委員会
21	下小松古墳群(3) 川西町埋蔵文化財調査報告書19	川西町教育委員会
22	左沢橋山城遺跡 大江町埋蔵文化財調査報告書3	大江町教育委員会
23	市内遺跡 (8) 長井市埋蔵文化財調査報告書17	長井市教育委員会
24	山田遺跡 平成11年度 鶴岡市埋蔵文化財調査報告書12	鶴岡市教育委員会
25	市内遺跡分布 鶴岡市埋蔵文化財調査報告書10	鶴岡市教育委員会
26	遺跡詳細分布 米沢市埋蔵文化財調査報告書69	米沢市教育委員会
27	横山古墳 米沢市埋蔵文化財調査報告書72	米沢市教育委員会
28	大浦 6~7次 米沢市埋蔵文化財調査報告書	米沢市教育委員会
29	大浦C遺跡 V期 米沢市埋蔵文化財調査報告書71	米沢市教育委員会
30	米沢城東二の丸跡 米沢市埋蔵文化財調査報告書68	米沢市教育委員会
31	気仙郡住田町小松洞穴 岩手県立博物館調査研究報告書16	岩手県文化振興事業団
32	引込横穴墓群 岩沼市文化財調査報告書1	宮城県岩沼市教育委員会
33	音路遺跡 伝蓮花谷太子寺跡発掘調査報告	郡山市教育委員会
34	蒲倉古墳群 発掘調査報告	郡山市教育委員会
35	鴨打A遺跡 第二冊(遺構外編)	郡山市教育委員会
36	館下遺跡 発掘調査報告	郡山市教育委員会
37	宮ノ脇遺跡 第3・4次発掘調査報告	郡山市教育委員会
38	郡山市埋蔵文化財分布調査報告6・7	郡山市教育委員会
39	郡山城館跡 第2次遺構確認調査報告	郡山市教育委員会
40	郡山東部23 戸屋遺跡(2次)屋敷添(2.3次)小泉山田A(3次)	郡山市教育委員会
41	荒井猫田遺跡発掘調査報告	郡山市教育委員会
42	咲田遺跡 第3次発掘調査報告書	郡山市教育委員会
43	山中日照田遺跡 第2次発掘調査報告	郡山市教育委員会
44	山田C遺跡 3次 発掘調査報告	郡山市教育委員会
45	小泉山田A遺跡(第2次)山田B遺跡	郡山市教育委員会
46	清水内遺跡	郡山市教育委員会
47	大安場古墳群 第3次発掘調査報告	郡山市教育委員会
48	大槻 八頭遺跡 発掘調査報告 第1冊	郡山市教育委員会
49	大槻向原遺跡 発掘調査報告	郡山市教育委員会
50	秋田県文化財調査報告書293`307,309,310	秋田県教育委員会
51	三内丸山遺跡XIV`XVII	青森県教育委員会
52	東北町長者久保遺跡 考古12 青森県立郷土館調査報告書44	青森県立郷土館
53	青森市埋蔵文化財調査報告書48`50,52	青森市教育委員会
54	多賀城市文化財調査報告書58,59	多賀城市教育委員会
55	陸奥国好嶋庄調査報告 福島県立博物館調査報告第4集	福島県教育委員会
56	鳴瀬町文化財調査報告書2`5	鳴瀬町教育委員会・奥松島縄文村歴史資料館
57	旭久保B遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会

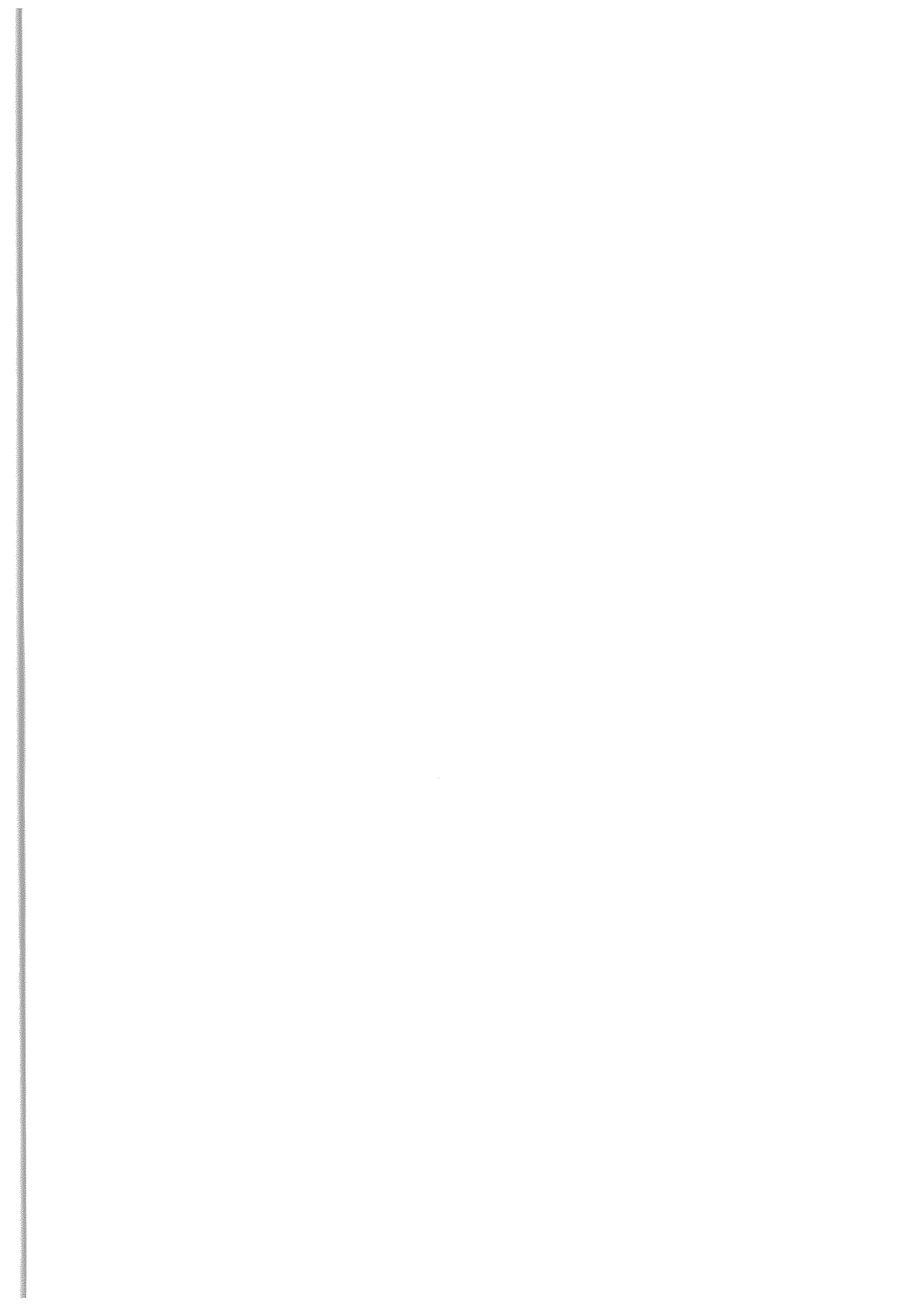
58	原之郷鱧沢遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
59	時沢中谷遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
60	小原目遺跡 付図1・2	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
61	小沢の場遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
62	小暮北受地遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
63	村内遺跡 平成8～11年度	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
64	東紺屋谷戸遺跡	群馬県勢多郡富士見村教育委員会
65	山武郡市文化財センター発掘調査報告書65	山武郡市文化財センター
66	人類誌集報2000 東京都立大学考古学報告5	人類誌調査グループ
67	川崎市文化財調査集録33`35	川崎市教育委員会
68	泉水山・下ノ原遺跡Ⅱ 1981年度発掘調査報告書	朝霞市泉水山・下ノ原遺跡調査会
69	旧汐留貨物駅跡内遺跡Ⅳ	東京都埋蔵文化財センター
70	東京都埋蔵文化財センター調査報告書79`82,84`86,88,90`92	東京都埋蔵文化財センター
71	栃木県埋蔵文化財調査報告書127,166,221,222,234`241	栃木県教育委員会
72	弥勒寺東遺跡 関市文化財調査報告21	関市教育委員会
73	津南町文化財調査報告第33輯	中魚沼郡津南町教育委員会
74	奥三面ダム関連遺跡発掘調査報告書Ⅷ アチヤ平遺跡	朝日村教育委員会
75	琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書2`5	滋賀県教育委員会
76	襖遺跡(付図有) 草津川改修事業・草津川放水路Ⅳ	滋賀県教育委員会
77	屋中寺廃寺 彦根市下岡部町 ほ場整備Ⅱ-1	滋賀県教育委員会
78	柿田遺跡・東上坂遺跡	滋賀県教育委員会
79	観音寺城下町遺跡・上出B遺跡・老蘇遺跡 ほ場整備27-3	滋賀県教育委員会
80	観音寺城跡	滋賀県教育委員会
81	近江国府跡Ⅱ 神領(大津)県営住宅第4期建替事業	滋賀県教育委員会
82	穴田遺跡発掘調査報告書Ⅲ	滋賀県教育委員会
83	上釣遺跡 葉山川河改修工事	滋賀県教育委員会
84	上田上牧遺跡Ⅲ ほ場整備27-7	滋賀県教育委員会
85	上平寺南館遺跡 中山間地域総合整備 1-2	滋賀県教育委員会
86	段ノ東遺跡 新生産調整推進排水対策特別事業	滋賀県教育委員会
87	辻野遺跡 国道477号道路改築事業	滋賀県教育委員会
88	内野遺跡 蒲生郡安土町内野 ほ場整備27-6	滋賀県教育委員会
89	法光寺遺跡跡 伊香郡木之本町田部 ほ場整備27-1	滋賀県教育委員会
90	木曾遺跡 ほ場整備ⅩⅩⅢ-2	滋賀県教育委員会
91	木曾遺跡 赤田川単独河川改良工事	滋賀県教育委員会
92	高雄・根木遺跡 赤穂市文化財調査報告書50	赤穂市教育委員会
93	襖遺跡 1 草津川放水路関連 草津市文化財調査報告37	草津市教育委員会
94	柳遺跡 草津川改修関連ⅩⅣ 草津市文化財調査報告38	草津市教育委員会
95	堤当正寺古墳 甘木市文化財調査報告書49	甘木市教育委員会
96	福嶽城跡 甘木市文化財調査報告書50	甘木市教育委員会
97	平原遺跡Ⅱ 佐賀県文化財調査報告書120	佐賀県教育委員会
98	織島東分遺跡群Ⅱ 三日月町文化財調査報告書10	佐賀県三日月町教育委員会
99	明治大学記念館前遺跡	明治大学考古学博物館

9. 日誌抄

- 4 / 3 辞令交付式
4 / 17 館職員研修
4 / 21 東北歴史博物館へ押出遺跡他縄文資料貸し出し
4 / 29 歴史公園「高島春まつり」
5 / 5 こどもの日無料入館日 388名入館
5 / 28 農楽校田植え
6 / 3 春の遺跡めぐり（山形市西部、山辺町、中山町） 23名
6 / 6 元興寺文化財研究会より保存処理資料一部返却
6 / 10 土器づくり教室 11名
7 / 8 ~ 9 遺跡の旅 北上・秋田方面 24名
7 / 30 勾玉づくり教室 51名
8 / 4 縄文まつり第1回実行委員会
8 / 19 土器づくり教室
8 / 20 第二期考古学セミナー「奈良・平安時代の考古学」(1) 木本元治氏
8 / 27 考古学セミナー (2) 佐藤庄一氏 47名
9 / 3 考古学セミナー (3) 宮本長二郎氏 47名
9 / 10 うきたむ縄文まつり 150名
9 / 17 考古学セミナー (4) 川崎利夫氏 39名
9 / 21 ~ 22 全国風土記の丘協議会 宮崎市・西都市（川崎）
9 / 24 考古学セミナー (5) 阿部明彦氏 セミナー閉講式
10 / 1 第9回企画展開展
10 / 10 本館運営協議会
10 / 15 秋の遺跡めぐり（米沢市方面） 22名
10 / 29 縄文土器野焼き
11 / 3 文化の日無料入館日 60名
11 / 12 公開講演会及びシンポジウム 110名
11 / 26 編布づくり教室 10名
12 / 5 企画展終了
12 / 9 ~ 10 うきたむ考古の会自主研修（西・北村山方面）
1 / 19 東京国立博物館へ彩漆土器貸し出し
2 / 4 古代食試食会 37名
2 / 12 2000年 山形の発掘 調査検討会
2 / 28 本館運営協議会

11. 利用案内

- ◆ 交通案内 J R 高島駅よりタクシーで15分
J R 高島駅より自転車40分
※高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります。
- ◆ 開館時間 4月1日～10月31日／AM9:00～PM4:30
11月1日～3月31日／AM9:30～PM4:30
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日
(こどもの日と文化の日は、無料で開館します。)
年末年始(12月28日～1月4日まで)
大型連休中は、臨時開館の場合があります。
燻蒸作業等のため臨時休館の場合があります。
- ◆ 入館料金 一般200円(150円)、学生{大学生以上} 100円(70円)
小中高 無料
()は、20名以上の団体料金
- ◆ 入館料の減免 次ぎの基準により減免(無料入館)します。
 1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、各号の一つに該当する者とする。
 - (1)教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2)その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者※上記2の入館料の減免を受けようとする方は、入館減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
- ◆ 収蔵図書の利用
資料館に収蔵されている図書(県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他)の閲覧等利用することが出来ます。
利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書資料のみのご利用には入館料はかかりません。詳しくは事務室までお問合せ下さい。



'2000 / 年報

平成13年（2001年） 3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117

山形県うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238(52)2585

FAX 0238(52)4665

アドレス:122@town.takahata.yamagata.jp

印刷 カトヤ印刷

